

## 令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

### 平均正答率

#### 1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
幡羅中	上回った	上回った	下回った	上回った	上回った	上回った	上回った	上回った
埼玉県	58.8	57.1	56.3	57.7	52.7	57.1	59.0	55.9

#### 2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
幡羅中	8-C	8-A	9-C	7-B	8-A	8-A	9-B	10-B
埼玉県	8-C	8-B	9-C	7-B	8-C	8-A	9-B	10-B

#### 3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
幡羅中		2	2		3	1		3
埼玉県	2	1	2	1	2	2		3

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	中1		中2		中3	
		幡羅中	埼玉県	幡羅中	埼玉県	幡羅中	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	91.4	89.1	97.6	89.9	99.5	92.4
	・だれに対してもすすんであいさつをすることができる	87.7	81.9	92.7	81.6	92.5	83.5
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	93.9	89.3	93.3	93.5	96.0	88.8
学習習慣	・勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える	64.8	60.5	67.5	58.7	66.5	61.8
	・勉強をするときは、最初に計画を立ててから始める	51.3	49.2	53.6	44.9	48.0	43.8
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	78.9	74.2	86.1	71.5	87.3	75.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	12.3	14.7	11.4	9.7	6.4	10.1
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	77.8	71.4	71.7	59.4	64.7	60.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	67.9	60.3	72.9	46.9	53.8	38.4
ICTの活用	・昨年度の国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	16.1	24.3	13.9	8.9	33.5	8.8
	・昨年度の数学の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	9.9	19.6	65.7	10.3	65.3	11.8
	・昨年度の英語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた			18.7	13.1	61.3	13.9
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	59.9	32.0	41.6	12.8	32.4	12.7
その他	・自分には、よいところがある	78.4	72.7	83.1	73.8	80.9	75.6
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	83.4	74.3	78.3	66.6	72.9	67.3
	・将来の夢や目標をもっている	84.5	82.5	80.1	72.5	82.0	70.1

### 【質問紙分析】

- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」割合が県の割合と比べて高いのは、校内でタブレットを持ち帰るきまりを統一し、課題をタブレットで出題した結果だと考えられる。
- ・「勉強することが楽しい、好き」割合が県と比べて低いのは、学習内容が深まると理解が難しいことが原因だと考える。そのため、基礎基本の定着を図るように朝自習の充実するような取組を行う必要がある。

## 伸びが見られた学級・教科での取り組み

### 【学級での取り組み】

#### ○国語

- ・授業の中で根拠をもって自分の意見を文章で書くなどの作業を意図的に行った。
- ・文章の内容や心情の読み取りに関する問題に多く取り組んだ。

#### ○数学

- ・学習内容の基礎の定着を図り、徹底的に繰り返し行ったことで、特に苦手としている生徒たちの伸びがよく見られた。

#### ○英語

- ・生徒同士の教え合いをする姿や協働する姿が多く見られ、各活動がスムーズに行うことができ、学習効果が高まった。

### 【教科での取り組み】

#### ○国語

- ・読解力を高めるためのポイントを具体的に確認しながら文章を読んでいる。(全学年)
- ・毎時間、語彙を高める小テストを行っている。(3年)

#### ○数学

- ・予習・復習に力を入れ、授業では ICT を頻繁に活用している。(2年)
- ・基礎基本の学習内容の反復と話し合い活動の充実を図っている。(3年)

#### ○英語

- ・教師と生徒が、デジタルブックや ICT 機器の活用をしている。(全学年)
- ・「読むこと」と「書くこと」に特化した活動を多く取り入れ、充実させることにより、生徒の基礎学力向上に努めている。(3年)

## 一人一人をより伸ばすための取り組み

#### ○国語

- ・文法や語彙に関する学習を繰り返し行い、基礎基本の定着を図る。
- ・古典などの我が国の言語文化を丁寧に扱い、苦手意識を払拭していく。

#### ○数学

- ・基礎的な問題演習を多く取り組みつつ、既習内容の復習を定期的に行う。
- ・本時のねらいを明確にした授業展開を行う。

#### ○英語

- ・小学校からの接続をスムーズに行えるよう、1学年当初から小学校で慣れ親しんできた表現や単語を使う活動を多く取り入れる。
- ・英語を使用する場面や状況の設定を行い、各領域の活動の工夫と充実を図る。